

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 27 年 7 月 16 日 (2015.7.16)

【公開番号】特開 2013-243594 (P2013-243594A)  
 【公開日】平成 25 年 12 月 5 日 (2013.12.5)  
 【年通号数】公開・登録公報 2013-065  
 【出願番号】特願 2012-116590 (P2012-116590)  
 【国際特許分類】

H 0 4 N    5/225    (2006.01)  
 G 0 3 B    15/00    (2006.01)  
 G 0 3 B    17/04    (2006.01)  
 G 0 3 B    17/18    (2006.01)  
 G 0 3 B    17/14    (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N    5/225    F  
 G 0 3 B    15/00    D  
 G 0 3 B    17/04  
 G 0 3 B    17/18    Z  
 G 0 3 B    15/00    Q  
 G 0 3 B    17/14

【手続補正書】  
 【提出日】平成 27 年 5 月 21 日 (2015.5.21)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

撮像装置本体に回転可能に取り付けられており、撮像画像を表示する表示手段と、前記表示手段の回転状態に応じて前記表示手段への表示の内容を変更し、前記表示手段が所定角度以上回転されたときに対面撮影モード表示に設定する表示制御手段とを備えた撮像装置において、

撮像レンズに取り付けられるアクセサリーの装着を検出する検出手段と、前記表示制御手段は、前記対面撮影時に、前記アクセサリー装着が検出されている場合は、前記撮像画像の表示領域を縮小して表示するよう制御することを特徴とする撮像装置。

【請求項 2】

さらに、撮像画角内の顔を検出し、前記表示手段における顔の像位置を判定する顔検出手段を有し、

前記表示制御手段は、前記対面撮影モード表示に設定されており、且つ前記表示手段における顔の像位置が、前記アクセサリーの一部に隠されて撮影者から見えない範囲であることを判定した場合には、前記撮像画像の表示領域を縮小して表示するよう制御すること

【請求項 3】

前記顔検出手段は、顔の特徴を検出して撮影者の特徴として設定し、次回の顔検出時に検出した顔の特徴が撮影者として設定した顔の特徴と一致するか判断し、

前記表示制御手段は、前記顔検出手段が顔の特徴を検出して撮影者の特徴として設定し

、次回顔検出時に検出した顔の特徴が撮影者として設定した顔の特徴と一致しない場合には、前記表示手段の表示領域を縮小移行しないことを特徴とする請求項 2 に記載の撮像装置。

【請求項 4】

前記表示制御手段は、前記撮像画像の表示領域を縮小するとともに、前記撮影者から見える位置に移行して表示するよう制御することを特徴とする請求項 1 ないし 3 のいずれか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 5】

撮像装置本体に回転可能に取り付けられており、撮像画像を表示する表示手段と、前記表示手段の回転状態に応じて前記表示手段への表示の内容を変更し、前記表示手段が所定角度以上回転されたときに対面撮影モード表示に設定する撮像装置の制御方法であって、撮像レンズに取り付けられるアクセサリーの装着を検出する検出ステップと、

前記対面撮影時に、前記アクセサリー装着が検出されている場合は、前記撮像画像の表示領域を縮小して表示するよう制御する表示制御ステップを有することを特徴とする撮像装置の制御方法。

【請求項 6】

さらに、撮像画角内の顔を検出し、前記表示手段における顔の像位置を判定する顔検出ステップを有し、前記表示制御ステップにおいては、前記対面撮影モード表示に設定されており、且つ前記表示手段における顔の像位置が、前記アクセサリーの一部に隠されて撮影者から見えない範囲であることを判定した場合には、前記撮像画像の表示領域を縮小して表示するよう制御することを特徴とする請求項 5 に記載の撮像装置の制御方法。

【請求項 7】

前記顔検出ステップにおいては、顔の特徴を検出して撮影者の特徴として設定し、次の顔検出時に検出した顔の特徴が撮影者として設定した顔の特徴と一致するか判断し、

前記表示制御ステップにおいては、前記顔検出ステップにて顔の特徴を検出して撮影者の特徴として設定し、次回顔検出時に検出した顔の特徴が撮影者として設定した顔の特徴と一致しない場合には、前記表示手段の表示領域を縮小移行しないことを特徴とする請求項 6 に記載の撮像装置の制御方法。

【請求項 8】

前記表示制御ステップにおいては、前記撮像画像の表示領域を縮小するとともに、前記撮影者から見える位置に移行して表示するよう制御することを特徴とする請求項 5 ないし 7 のいずれか 1 項に記載の撮像装置の制御方法。